

## 2022年5月月例山行「両神山」報告

\*日程：2022年 5月14日(土)

\*場所：埼玉県 両神山(100名山) 1,723m

\*参加者：(敬称略)大野 国光、立原 由子、那須 朋美、田中 麻志帆

(CL)小玉 和孝、(SL)行方 真由美

\*行程：白井差登山口9:00⇒分岐9:20⇒水晶坂10:00⇒ブナ平10:20⇒稜線鞍部11:10⇒両神山11:30  
⇒下山開始11:45⇒合流点11:55⇒ブナ平(昼食12:10⇒下山開始12:30)⇒登山口14:00

新緑の眩しいマイナスイオンたっぷりの両神山でした。

登山ルートでも比較的行動時間と標高差の少ない(900m)白井差新道ルートで登りました。

4月2日の下見は山頂は雪でした。本番の山行は山頂から景色を見たいと思っていましたが予報は雨のち曇り。

それも前日には関東今年最大級の大雨の予報でした。直前まで決行できるのかと心配でしたが、天気が回復してくれました。

当日の予報があまり良くなかったため、渋滞の心配をしていた関越道も渋滞なしでスムーズに流れて登山口(標高850m)

のある山中様のお宅の駐車場に予定より早く到着できました。

白井差新道登山道を管理されている山中様は、登山道の管理の他に両神山周辺の山岳警備隊で遭難者の搜索、遺体の回収などもされていると下見の際には身の引き締まるお話を聞かせて頂く機会がありました。

当日は登山道の整備に出られていてお話を伺う事ができませんでしたが、山行中にスコップを持ち整備をされている山中様にお会いする事ができました。登りで疲れ気味でしたが山中様に会えた時はほっとした瞬間でした。

心配していた雨も登山開始後すぐ止んでくれてお天気が回復してきたので今度は蒸し暑さが大変でした。

それでも標高が上がってくるとひんやりとした風が心地よく感じられ山頂付近にはアカヤシオも見ることができました。

山頂到着後は遠くの山並みは霧の中でしたが、他の登山者も居なく貸し切りでだったので、のんびり写真を撮ったりしている内に霧が晴れて遠くに富士山が見えた時は、みんな思わず自然とファアと声が上がって本当に嬉しかったです。

下山の途中で昼食を取り下山後、登山道整備費の1000円を支払い両神山バッチを頂き解散しました。

山行委員として初めての山行無事に終わられてほっとしています。

参加者の方々ご協力&楽しい山行ありがとうございました。(行方)

※両神山白井差新道ルートは山中様に事前の予約が必要です。



◆参加者 立原 由子様のご感想

前日一日中雨、当日朝 4 時半ごろ雨がやんでいて、よかったと思っていたら、家を出るころ、6 時前から強く降り出す。集合場所の東上線若葉駅に向かう。両神山は登ったことがなく、行けるか心配だったので。車の中で楽しく会話し、頑張って登ろうという気持ちと雨がやみ、ほっとしました。しかし下見をされたリーダー、サブリーダーの会話で最後の鎖のところが滑るかもしれないと聞き、また不安になりました。歩いてるうちにそれ程困難なところもなく、頂上に到着。しばらく誰も登ってくる人もなくて貸し切りでした。ヤシオツツジが咲いていて、なんと富士山も見られて感動しました。朝の雨が嘘みたいと思われました。山頂から 600m 降りたところで昼食、下山開始する。行きは登りだけで疲れを感じましたが、下りは岩も乾いていて楽しく降りられました。私にも登ることができたことを嬉しく思っています。企画をしていただいたリーダーさんサブリーダーさんに感謝します。

◆参加者 大野国光様のご感想

両神山登山

5月14日の朝は、前日からの雨が残りましたが、登山開始の9時前に雨は上がり雨具無での山行に少しほっとしました。山頂まで最短距離の白井差新道ルートで山頂を目指します。歩き始めて間もなく、新緑に映える昇竜の滝を眺めながら進みます。新緑と溪谷の美しさに心が洗われました。来て良かったと実感した瞬間でした。その後急峻な杉林を登りますが、いつの間にか杉林から広葉雑木林の、新緑が美しい中腹へ到着します。振り返れば雲海とその先に浮かぶ山並みが何とも神秘的でした。遠くにうっすらと青空ものぞきましたので気持ちも高揚してきました。山の上を見上げれば稜線も近くに見え、右上に山頂と思われるのぞき岩が見え高揚に拍車がかかりました。そして最後の岩場・鎖場が見えます。いよいよかと思い鎖場を上ります。無事着きました。瞬間的ですが晴れ間が広がり、遠くに富士山を望む 360 度の眺望に感激しました。とても楽しい両神山登山でした。